

名板刷新！“追悼ひろば”

2013年に追悼ひろばができてから、いろいろと拡充作業をしてきましたが、メインである犠牲者の名前が明記されている名板が7年の間に日焼けをしてしまい、名前が読みにくくなっていました。2～3年前から韓国遺族会とも相談しながら様々な検討を重ね、今回、79周年追悼集会開催の前に、石の名板に刷新しました。
新しくなった名板を見に、追悼ひろばにお越しください！



2013年建設時の追悼碑



2020年12月現在の追悼碑

名板の色に
注目！



2021年1月に石の名板になりました！

拡充や維持にも費用がかかります。
カンパをよろしく
お願いします！

- | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|------------------------|--------------------|-----------------------|---------------------|----------------|--------------|------------------|------------------------|--------------------|----------------|---|
| 3 / 19 (金) | 3 / 10 (水) | 2 / 28 (日) | 2 / 26 (金) | 2 / 22 (月) | 2 / 20 (土) | 2 / 18 (金) | 2 / 10 (水) | 1 / 30 (土) | 1 / 17 (日) | 1 / 16 (土) | 1 / 15 (金) | 1 / 13 (水) |
| (宇部市) | (水) | (日) | (金) | (月) | (土) | (金) | (水) | (土) | (日) | (土) | (金) | (水) |
| 第12回運営委員会＆『たより』発送作業 | 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市) | (日韓青少年交流)B-Y-P実行委員会Web | 真相究明ネットワーク事務局会議Web | 民の連携を考える「オンライン研究会」Web | 第13回強制動員全国研究集会(Web) | 第11回運営委員会(宇部市) | 朝鮮学校支援行動月間行動 | 79周年犠牲者追悼集会(宇部市) | (日韓青少年交流)B-Y-P実行委員会Web | 真相究明ネットワーク事務局会議Web | 第10回運営委員会(宇部市) | 山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会参加(山口市) |

活動日誌(前回たより以降及び前回不足分)

刻む会 たより

NO. 80

2021年3月19日

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会 共同代表 井上洋子・木村道江

事務局 宇部市常盤町一―一九(宇部緑橋教会内) TEL0836(21)8003

カンパ振込先 ゆうちよ銀行 口座番号 01590・7・32405

年会費 《正会員》個人3,000円 団体5,000円
《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円

ホームページ <https://www.chouseitankou.com>
メール chouseitankou@gmail.com



79周年追悼集会



会場ではソーシャルディスタンスを保ち、マスク着用、アルコール消毒で対応しました。

韓国からのご遺族が来日できない状況で初めて開催された追悼集会でした。

どのような形で開催するか、思案しました。

今回は、オープニングに在日のご遺族である「ハルナコ」さんの生演奏で始まり、ご遺族代表、駐広島大韓民国総領事館の金宣杓総領事、在日本大韓国民団山口県地方本部の林源玉団長、在日本朝鮮人総連合会山口県本部の朴徹委員長の4名でチェサ(韓国式法事)を行っていただきました。

コロナ禍の中で、感染拡大防止に注意しながらの開催でしたが、約100名の参加がありました。

第一部

ハルナコさんが長生炭鉱で犠牲になったもう会えない愛する人への叫び、海の底に眠る魂への祈り…この曲をさいた方々の心が優しくなりますようにと願いを込めてつくってくださった歌“カジマヨ”でオープニング



ハルナコ(柳春菜)さん(左)
福岡在住のシンガーソングライター
犠牲者の姪の孫にあたります。

司会進行:井上洋子共同代表

韓国遺族会より、ビデオメッセージが届けられ、第2部で上映するが、第1部では上映環境がないため、運営委員の宮本輝男委員が内容を代読

【来賓挨拶】

駐広島大韓民国総領事館…金宣杓総領事(上)
在日本大韓国民団山口県地方本部
…林源玉団長(下左)
在日本朝鮮人総連合会山口県本部
…朴徹委員長(下右)

来賓の方々とハルナコさんと一緒にチェサを行っていただきました。



【閉会挨拶】

内岡貞雄顧問

最後に、参加者で献花をしました。

「強制連行」と長生炭鉱 および今後の展望

第二部 講演

顧問 内岡貞雄

「刻む会」を長年共同代表としてけん引してきた内岡貞雄顧問から、これまでの活動を振り返り、今後の道しるべを示す講演をしていただきました。コロナ禍で今後の活動をどのようにしていけば良いか暗中模索が続いておりますが、これまで歩んできたことを再確認することは、とても意義がありました。来年の80周年に向けて、良い集会となったと思います。以下、当日資料の原稿を転載します。



1. 「強制連行」を刻む

2011年1月30日、69周年追悼集会翌日の韓国遺族会との話し合いは、活発な意見交流があった。特に韓国・朝鮮人犠牲者追悼碑に「強制連行」の文言を入れるかどうかについて賛否両論が交わされた。

1939年9月、平沼内閣のもとで「募集」(1939年度労務動員計画、移住朝鮮人85,000人)がはじまり、長生炭鉱は同年10月12日に朝鮮人249名を慶尚北道から連行した。私は「強制連行」は実質この時から始まるという意見を述べた。当時、副会長だった楊玄(ヤン・ヒュン)さんは、「その意見は、男たちの碑(旧慰霊碑)をつくった人たち、もつと言えば権力側の言うことと同じです。1910年に植民地支配を受けてから、私たちは日本帝国や日本人の言うことは、否応なくすべて強制的圧力を感じてきたという認識です」。また今回の追悼集会で戸籍謄本を示しながら、日本政府の不作為を批判した朴源奎(パク・ウォンギョ)さんは言った。「刻む会」は歴史を正しく刻んでいこうと結成された市民団体だと聞いている。強制連行を避けるのではなく、歴史の事実を正しく堂々と刻んでほしい。強制連行であったことは紛れもない事実なんですから。」その日は時間切れとなり、双方の意見を踏まえ「刻む会」の定例委員会で検討することになった。後日、遺族会と「刻む会」の意見を擦り合わせる結果、「強制連行」の文言を挿入することに決まった。(写真①)

この論議は、私にとって遺族会の思い・遺族の

思いをしつかり受け止めなくてはいいけないという貴重な経験となった。

2. 監視下の「合宿所」

(写真②)は1939年9月に会社が建てた合宿所の一部である。平屋建て4棟が

口の字型になり出入り口は1ヶ所だけだ。会社はそこに警備係を置き、24時間の監視を行った。合宿所は約400名の单身・独身の朝鮮人を収容し、周囲を3・6メートルの板塀で取り囲んだ。板塀は朝鮮人の逃亡を防ぐ目的だったが、彼らの逃亡は止むことはなかった。ある朝鮮人労働者は、「一部屋に二畳のスペースで4人があてがわれ、8畳続きの部屋が多くあった。厳冬期に与えられる毛布一枚ではとても寒さを凌げないので、隣の人と二枚の毛布を重ねて寝た」と話した。

(聞き取り/1995年1月山口武信会長(故人))

人を人として扱わない「長生炭鉱」、杜撰な全対策の「長生炭鉱」から逃げようとする朝鮮人は相次いだ。彼らは下関港から鉄道か小船で連行されたが、会社は小船を多く使うようになった。小船は彼らに周囲の地理を覚えさせないようにする「逃亡防止」の目的もあったが、効果はなかった。長生炭鉱の脱出は、非人道的な「強制労働」から朝鮮人自らが「人間の尊厳」を取り戻そうとする命がけの行動だった。一方海底坑道では、朝



写真① 追悼碑除幕式

鮮人は採炭夫として12時間労働を強いられた。彼らは沖に延びる坑道の採炭場で作業を行ながら、漁船の焼玉エンジン音に不安を覚え、課長―係長―係員―指導員という命令系統のもとで厳しく監視された。こうした労働実態が「強制労働」注1 (force to work) に該当することに異論はないと思う。

注1…日本製鐵徴用工問題について、2018年

10月30日に韓国大法院判決は原告の請求する日本製鐵への損害賠償請求権を認めた。この裁判で大阪高裁判決は原告敗訴(2002. 11. 19)になったが、判決文には「原告の労働実態は強制労働に該当し違法と言わざるを得ない」と書かれた。



写真② 合宿所跡 (1988. 8)

ている所だ」と教えてくれた。坑道はキャップランプがあっても薄暗く、空気が汚れている悪環境でコレラが流行った。ギョンボンさんも罹患し、もう少しのところでは火葬場送りになるところだった。



写真③ 長生海岸にて

「毎日、毎日ここを逃げ

出すことばかり考えていた。午後5時からの作業を終え、寮に戻る途中に『水非常』が起こったという声を聞いた。振り返ると、海上に黒い煙が立ち込め、白い水柱があちこちに聳え立ち、泡が舞っていた。同郷のお兄さんや坑内にいた仲間みんな死んだ。私はこうして生きているが、亡くなった人たちの遺骨を早く引き揚げてほしい。それと悔しいことがあまりに多すぎた。日本政府は強制連行を認め謝罪してほしい。(2007年2月3日 65周年追悼集会)

(写真③) 長生海岸で山口武信代表(左)と。

○秋順得さんは事故当時、坑内で作業をしていた。当時17歳で、電気保安係から事故現場近くと呼ばれて、松の千本束を運ぶように指示された。彼はこの場所に居たことが九死に一生を得ることになったと話す。(写真④)

水没事故の瞬間、耳を劈く音が響いた。「バリバリドーン」、坑道の支柱がものすごい音を立てて崩れ落ち、大量の海水が流れ込んだ。スンドクさんは坑口めがけて走った。

スンドクさんは2006年4月に韓国真相糾明委員会からの聞き取りを受けた後、長生炭鉱坑外図と坑内図を「刻む会」に横川輝雄さんを介して送ってきた。それらの図から、彼の少年時代の記憶と思いの深さが感じられた。



写真④ 長生炭鉱で働いていた秋順得さん 72歳

4. 今後の展望

宇部市との協議及び成果について述べる。

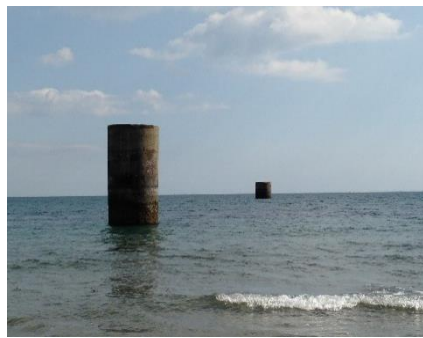
(写真⑤)は、ときわ公園の石炭記念館(1969年オープン)2Fに展示された宇部市の年表である。上の写真に長生炭鉱水没事故が記載されていないかったので、山口武信代表が抗議をして加えられたものである。下は「刻む会」の指摘により「殉職者」を「犠牲者」と修正させたものだ。

(写真⑥)は、ピーヤの説明板(長生炭鉱と石炭産業)であるが、説明文に問題があった。すなわち、〃石炭は郷土の産業経済だけでなく、国のエネルギー政策を支えてきました。私たちは先人たちの命をかけた炭鉱への思いを未来

昭和17年(1942) 長生炭鉱、水没事故が発生(殉職者 183名)

昭和17年(1942) 長生炭鉱、水没事故が発生(犠牲者 183名)

写真⑤ 上は2009年に加えられた
下は2015年11月に修正された



写真⑦ ピーヤの保存

(写真⑦)はピーヤの保存である。1991年「刻む会」発足時にピーヤを保存する署名2,687筆を県と市に提出した。2015年から「ピーヤの保存」について、市教育委員会に文化財あるいは史跡の指定について検討を依頼した。その後船木にある「学びの森」で、文化財指

へと継承していかねればなりません。〃という箇所だ。この部分を削除させるのに7年も費やした。強制連行や生活困窮のためやむなく渡日したという記述がない

のは不満であるが、ピーヤを正面にした海岸沿いのフェンスに説明板が設置されたことは、評価できる成果といえる。昨年(2019年)5月、韓国の民主団体一行がこの地を訪れた時、説明板を見てたいそう喜ばれた。



平成三年(二〇一九年)二月

宇部市

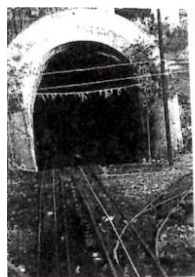
長生炭鉱と石炭産業

宇部市は石炭によって発展してきました。石炭は黒ダイヤと呼ばれる多くの利益をもたらしてきました。一方で、地下や海底で作業を行う炭鉱では、事故により、多くの犠牲者を出してきた歴史があります。長生炭鉱は大正三年(一九一四年)に開鉱された海底炭鉱で、最盛期には炭鉱内外で約千名の人々が働き、年間約一六万トンの石炭を出産していました。昭和十七年(一九四二年)二月三日、本坑口から約一キロメートルの坑道内で異常出水し、坑内で働いていた一三六名の朝鮮半島出身者を含む一八三名が犠牲になりました。

写真⑥ ピーヤの説明板

定の協議会に傍聴者として出席した。また、石炭記念館2Fのスペースに長生炭鉱関係の展示をしてみようという見取り図添付の要望を行った。(写真⑧)は長崎県池島炭鉱の坑口と斜坑である。「刻む会」は2015年10月に3日間かけて坑口及び坑道調査を実施した。熊本の業者に委託し、同年12月の調査結果で坑口場所が特定された。そこから4〜5メートル地中を掘ると、コンクリートの坑口が現れるはずだ。工事の実現には市からの許可をはじめ、いくつかの解決すべき壁があるが、可能性は大いにある。

「刻む会」は、追悼ひろばにある追悼碑をピーヤ正面の坑口付近に移動し、「殉難者之碑」(1982年4月建立)と共に歴史の真実を語れるものにしたと願っている。私たちの取り組みの「成果」は決して多くないが、一つひとつ確実に積み上げられている。今後の展望は必ず開けてくる。



写真⑧ 長崎県池島炭鉱(斜坑18度)
(2013.12.26)



第2部の最後に、閉会挨拶をする木村道江共同代表(左)。入退院を繰り返しながらも先頭に立って頑張っています！



検温、マスク着用、アルコール消毒、ソーシャルディスタンスを保ちながら、約50名の参加者がありました。

強制動員真相究明ネットワークの第13回全国研究集会は、昨年(2020年)6月に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染予防の関係で延期となっていました。

現地開催が難しい状況でこの1年を過ごし、2021年2月20日(土)によりやくweb集会を開催することになりました。

今回は、富山での開催予定でしたので、富山での取り組み報告を中心に、後半で各地の取り組み報告を行いました。

この後半部分で、井上洋子共同代表が、「長生炭鉱の新しい証言について」報告をしました。以下、原稿の全文を掲載します。

わずか10分という限られた時間の中でしたが、Zoom参加者100名、YouTube参加者17名と、多数の視聴者の中で、報告ができたことは意義深かったと思います。

また、前半の富山での取り組み報告はとても興味深い内容で、本来なら現地に行き、フィールドワークする予定だったものができず、とても残念に思いました。

今後も、ネットワークと共に全国の取り組みに学びながら活動していこうと思います。

第13回強制動員全国研究集会

「語りつぐ強制連行の歴史-富山(北陸)編」

2021年2月20日(土) 13:30~16:30

集会プログラム

＜富山(北陸)の取組み＞

- ①地域から戦争と平和・人権を考える機会に『平和と人権とやまガイド』を作成して P. 2
富山県歴史教育者協会 松浦晴芳さん
- ②黒部川電源開発と朝鮮人 コリア・プロジェクト@富山 堀江節子さん P. 7
- ③不二越女子勤労挺身隊訴訟 闘いの報告 不二越強制連行・強制労働訴訟を支援する北陸連合会事務局 中川美由紀さん P. 47
- ④「石川県七尾連への中国人強制連行」 七尾強制連行への戦後補償を実現する会 角三外弘さん P. 90

＜各地域の取組み＞

- ⑤韓国で神岡鉱山労働者遺骨の遺族を捜す 強制動員真相究明ネットワーク会員 下島義輔さん P. 98
- ⑥「長生炭鉱の新しい証言について」 長生炭鉱の水非常を歴史に刻む共同代表 井上洋子さん P. 99
- ⑦「大阪空襲の朝鮮人犠牲者の遺族はどう生きたか」 「天理市の旧日本飛行場敷地内の説明板問題について」 大阪空襲75年朝鮮人犠牲者追悼集会実行委員会 川瀬俊治さん P. 103
- ⑧「ここが問題、産業遺産情報センター」 強制動員真相究明ネットワーク会員 竹内康人さん P. 115

主 催 強制動員真相究明ネットワーク
協 賛 コリア・プロジェクト@富山

「長生炭鉱」の新しい証言について

共同代表 共同代表 井上 洋子

去る1月30日(土) 79周年追悼式がコロナ禍で、韓国遺族会が参席できない中でしたが、挙行できました事を報告いたします。遺族会からのビデオメッセージ、「大韓民国行政安全部過去史関連業務支援団」団長メッセージ、駐広島大韓民国総領事の追悼挨拶、地元在日の皆さんをはじめ、100名もの方々に参列いただきました。関心をお寄せいただきました全国の皆様にお礼申し上げます。

長生炭鉱の場合は、1939年10月12日の249人を皮切りに「募集」名目の連行が開始され、1941年10月までに1258人が「合宿寮」に収容・強制労働をさせられました。

生存者や遺族の証言、会社側資料等で強制連行・強制労働の実態も明らかになっていきますが、ご遺族の一人・黄鐘培(ファン・ジョンベ)さんが、昨年の追悼式の折、衝撃的な証言をされました。黄鐘培さんは1938年生まれ、8人兄弟の4男として宇部で生まれ、事故当時は幼少なので証言は両親や兄弟から聞いたものと思われる。黄さん一家は自由渡航で来日し農業を営みながら比較的裕福な暮らしだったそうで、次兄は広島島の鉄道学校(広島県糸崎鉄道学校)にも行ったそうです。

長兄である犠牲者の黄鐘吉(ファン・ジョンギル)さんは、学校に行くといって出かけたきり帰って来なかったと言います。両親は行方を捜し回

り見つからないので、韓国に帰ったかもと下関港の渡航名簿まで探しに行かれ、とても心痛な日々を送っていらしたそうです。

失踪後の約1年後、長生炭鉱会社から死亡の電報が来て、息子が長生炭鉱で働いていて水没事故で死んだことを初めて知ったといいます。親に消息の手紙すら出せなかった環境に置かれていたのではないのでしょうか。この証言は彼が宇部市内で拉致され長生炭鉱「合宿寮」に収容されていたのではないかと、その可能性が十分にあると思われる。

長生炭鉱の募集承認数(1939年~1941年)は1630人で、総力をあげても未達の状況であり、そのうえ、逃亡者が相次ぎ、自由渡航の者さえ命の危険を感じ家族を連れて逃亡したという証言もいくつもあります。

ここで強制連行の状況がどんなものであったのか、当時の下関警察署長の証言を紹介します。(資料参照 下線部のみ読み上げ)



自宅のパソコンの前にてオンラインで発表する井上洋子共同代表

【資料】

40 年目の証言

美祢市民・戦争体験記 「五日の会」

強制連行の労務者

大嶺町中村 山本 操（当時下関警察署長）

炭坑労務者は極度に不足し、国内での作業員の動員は不可能となった。青年壮年の大部分は、拡大を続ける戦場へ送られ、学生までが学業を放棄して戦場へ往かねばならなかった。わずかに残った人たちも、女子学生と歩調を合わせるように、海軍工廠や陸軍造幣兵廠に徴用されて、日本の労働力は総動員の状態であった。

日本の軍部は、炭鉱労働者の徴用の手を、朝鮮半島（現在の韓国と北朝鮮）へ伸ばしたのである。当時朝鮮半島は日本の統治下にあり、行政機関として京城に朝鮮総督府が置かれていた。炭鉱労働者徴用の事務を総督府が担当し、軍部がこれに呼応して、朝鮮半島での過酷な強制徴用が開始されたのである。

道路を歩いていって韓国人が、まるで逮捕のような形で船に連行され、そのまま船室に閉じ込められた。船を見学に行かないかと誘われて、停泊中の船に乗ったら、再び上陸をすることは禁止された。盲目の老人が杖を突いてよろよろと裏道を通行していて、強制的に連行された笑えない事実もあった。体力が弱って、軍部の魔手から遁れることができなかった人たちは、すべて船に乗せられた。

こうした人たちを乗せた輸送船は、続々と下関港に接岸した。上陸する姿を眼にしたとき、私は啞然として言葉が出なかった。栄養失調でよろめきながらタラップを降りる者、歩行困難で立ちまどう者、盲目や重症者は同行の人の肩を借りて上陸する者等、眼を覆いたくなる惨状を呈していた。この人たちが、明日からの炭坑労務に従事することができたらどうか。そんな

耐久力があるとは思われず、危惧だけが私の脳裏を支配した。

収容所は市内竹崎町の仏教会館（現在の福岡相銀）であった。私は下関警察署長の重責を担っていたから、職務上から何度も収容所を視察した。そこに展開されているのは、まさに地獄絵図であった。鼻を衝く悪臭が漂って、ごった返していた。泣き叫ぶ病人はまだ元気が残っていたが、氣息えんえんとしていまにも息が絶えそうなるもいた。

「朝鮮へ帰してくれっ、家には老人と子どもしか残っていないんだ。俺が居なければ、みんな餓死してしまうじゃないか」と絶叫する男の隣で、無言で宙に眼を据えている者もいた。こうした状態の集団は、後から後から下関港へ入って来た。募集責任者は頭数だけを調達すればそれで責任が果たせたのである。労働ができるか否かはほとんど問題にしていなかったのだ。

こうした労務者の中で、どうにか動ける者までを編成し、目的地の大嶺の無煙炭坑や宇部、小野田の炭鉱に列車で送られた。しかし歩行困難の者や就労できない重症患者は下関市隔離病舎に移した。盲目の老人もその一人であった。こうした病人に献身的な医療をされたのは、外科医の黒田憲夫医師と、内科医の宮崎伊三郎氏であった。船が入港するたびに実施される集団検診や、病人の治療は無報酬である。それにもかかわらず悪臭の中を縫って、可能な限りの処置をされたのである。人間愛に国境はないが、それを身をもって実践された二人の医師に対して、申し上げるべきお礼の言葉もなく、ただ心の中で感謝の合掌あるのみであった。

下関隔離病舎に収容された患者は、二人の医師の懸命な努力にもかかわらず、その半数以上が空しく生涯を終わった。私のもとへ報告された死者の数だけでも30数名に達したと記憶しているが、確実な数字を知ることができなかった。

た。その人たちの遺体は、下関の共同墓地に埋葬された。

日本はポツダム宣言を受諾した。それは無条件降伏であった。強制的に連行された朝鮮半島の労務者は、本国へ送還されることになった。しかし彼らの態度は一変した。各地で暴れに暴れ、とどまることを知らなかった。停車駅附近の暴力は眼にあまるものであった。日本軍の不合理な圧迫から解放されて、反動的行動に出た気持ちはわかるが、警察として治安の上からこれを看過するわけにはいかなかった。これの鎮圧には全く手を焼いたものである。帰国する労務者たちは、続々と下関駅へ終結した。毎日数百人から、多い日には一千人にも達した。宿舎がなく、駅構内を唯一の宿泊所としたから収拾のつかないパニック状態になった。構内で炊事をするのはまだよい方で、便所が足らず、いたるところで排便した。駅長室付近まで臭気がぶんぶんである。このままでは駅としての機能は完全にマヒする。ここで多くの抵抗を排し、焼け残った関釜連絡船の待合室を帰国労務者の収容所とした。汚れるだけ汚れた下関駅を清掃するのは、下関消防署が総力を挙げて丸二日を費やしたのであった。送還が完了した時、警備に当たった私たちは、ほっと安堵の胸をなでおろした。それは一つの時代が終わった気持ちであった。

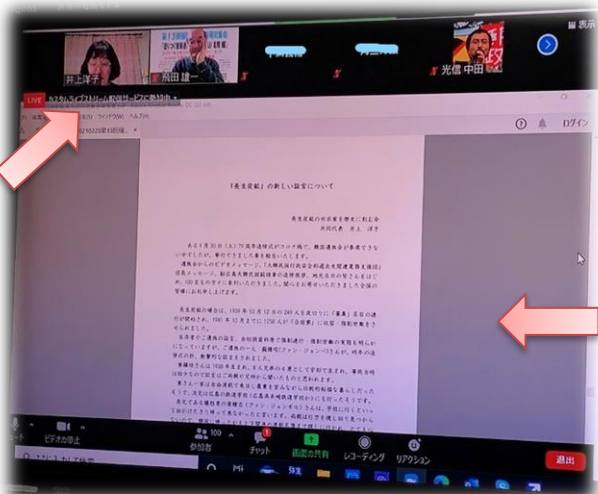
この元下関署長の証言は、当時募集責任者は数合わせのために高齢者や「障害者」を含め手あたり次第連行したという事実、下関収容所で労務に耐えられそうにない判断された者は下関隔離病舎に移されて、そこで少なくとも30数人の朝鮮人が命を落とし、下関市共同墓地に埋葬されたと証言しています。

この証言をもとに私たちが調査した結果、1984年（昭和59年）12月23日の朝日新聞記事によると、「下関市関山納骨堂」には30数人をはるかに上回る221体もの韓国人無縁仏が安置されていたそうです。翌年には民団や日韓親善協会等の働きで奉還される予定とありますがまだ確認できていません。引き続き調査の必要を感じています。

来年は長生炭鉱水没事故から80周年を迎えます。ご遺族は「位牌返還」と「遺骸収集」を訴えております。直系ご遺族は80才以上となり、残された時間はありません。坑口からの発掘を含め希望の持てる80周年追悼集会になるよう、この1年間全力で頑張っていきたいと思っております。さらなるご支援を訴えて報告を終わります。

資料などが表示されます

井上洋子 共同代表



Zoomでの集会はこんな感じです！

大和裕美子さん



シンポジウム 「戦後補償運動と日韓 市民の連携を考える」 オンライン研究会

2021年2月22日（月）に東京大学韓国学研究中心主催で「戦後補償問題と日韓の市民運動」と題するオンライン研究会が開催されました。

東京大学韓国学研究中心の外村大さんが、司会・コーディネーターを務め、金廣烈（光云大学教授、韓日民俗学会初代代表）さんの講演の後、パネルディスカッションとして4名の登壇者（東京大学専任研究員・一橋大学名誉教授の田中宏さん、ARGO 人文社会研究所研究理事の李淵植さん、大阪経済法科大学研究員の李洋秀さん、九州共立大学の太和裕美子さん）があり、そのうちの一人、太和裕美子さんが、長生炭鉱の問題について取り上げ、発表してくださいました。

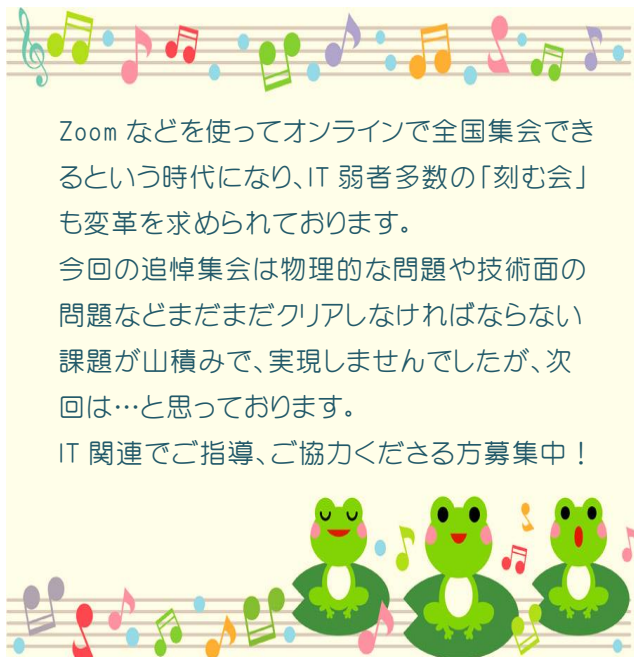
13時から17時過ぎまで、さまざまな問題提起がなされ、意義深い研究会でした。

太和裕美子さんは、追悼碑建立時の「刻む会」と韓国遺族会とのやり取りを調査研究され、『長生炭鉱水没事故をめぐる記憶実践—日韓市民の試みから—』（花書院 2015年3月20日出版）という本を出版されています。韓国に留学もされ、現在は九州共立大学で教鞭を取られています。

Zoomなどを使ってオンラインで全国集会できるという時代になり、IT弱者多数の「刻む会」も変革を求められています。

今回の追悼集会は物理的な問題や技術面の問題などまだまだクリアしなければならない課題が山積みで、実現しませんでした。次回は…と思っております。

IT関連でご指導、ご協力くださる方募集中！



会計報告（2020/12/01～2021/02/28）

【一般会計】

（円）

	科 目	年度予算	期間実績	累計	達成率	備考
	歳入					
1	会費	600,000	47,000	522,000	87.0%	
2	寄付金	900,000	350,100	750,100	83.3%	※
3	物販	46,000	3,800	5,500	12.0%	
	証言・資料集	36,000	2,800	4,500	12.5%	
	その他	10,000	1,000	1,000	10.0%	
4	雑収入	4,000	0	3,740	93.5%	
5	前期繰越金	51,156	0	51,156	100.0%	
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合 計	1,601,156	400,900	1,332,496	83.2%	

	歳出					
1	事務費	50,000	9,642	39,716	79.4%	
2	広報費	300,000	114,680	336,035	112.0%	会報誌送料・印刷
3	会議費	30,000	0	0	0.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	1,033	3,905	39.1%	追悼ひろば電気代
5	活動費	1,035,000	2,500	4,300	0.4%	
	学習会等	135,000	0	0	0.0%	
	追悼集会	650,000	0	0	0.0%	
	その他活動	250,000	2,500	4,300	1.7%	産業遺産ブックレット
6	他団体会費等	40,000	19,000	53,000	132.5%	三千里鐵道 東京朝鮮人 強制連行真相調査団他
7	雑支出	65,000	3,514	35,271	54.3%	
	手数料	45,000	3,514	35,271	78.4%	
	その他	20,000	0	0	0.0%	
8	予備費	36,156				
9	特別会計へ繰出	35,000	0	0	0.0%	
	小 計	1,601,156	150,369	472,227	29.5%	
10	繰越金	0	250,531	860,269		
	合 計	1,636,156	400,900	1,332,496	81.4%	

※寄付者（敬称略）

安溪 遊地 石田 耕一 梅崎須磨子 江島三紀夫 呉 世 憲 大隅 督子 岡屋 義之 小野 輝
 柏原 省治 鎌田 清 河 海 龍 姜 泰 玉 杵渕 智子 小林 昇 澤田 知夫 澤田 雪江
 島村眞知子 白川 健一 鈴木 忠実 徐 根 植 崔 玉 任 鳥家 治彦 長澤連三郎 浜田 光明
 東村 實 福川 寿子 福田 安子 福原 孝浩 馬嶋 英子 宮本 輝男 本吉 真希 山田 真
 山本 利明 鑑光 洋子 横中 霞 梁 大 隆 在日大韓基督教会小倉教会

在日大韓基督教会西南基督会館 在日本朝鮮人総連合会山口県本部 在日本大韓民国民団 山口県宇部支部
 在日本大韓民国民団 山口県地方本部 在日本朝鮮民主女性同盟山口県本部 NPO 法人 三千里鐵道
 在日本朝鮮人総連合会 宇部小野田支部 日本基督教団小郡教会 観音宗 その他匿名 8 件

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,178,522		ピーア説明板	33,330	ハングル版
繰入金	0		カーポート修繕	196,900	
			名板修繕	880,000	
			繰越金	68,292	
合 計	1,178,522		合 計	1,178,522	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,776,668		DNA 鑑定	29,700	2名
繰入金	0		繰越金	1,746,968	
合 計	1,776,668		合 計	1,776,668	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

朝鮮学校支援！ 2月 行動月間行動 報告

2月10日、すべての子どもに学ぶ権利を！2021全国行動月間 朝鮮学校を支援する山口県ネットワークの行動は、下関市民センターでの集会と、下関駅前街宣活動を行いました。

内岡貞雄代表のあいさつとオモニ会保護者の補助金停止と民族差別への糾弾の思いが述べられ、呉校長から署名等の現状報告を受けました。

九州朝鮮学校無償化弁護士団の清田美喜弁護士の講演は、どうしてかわるようになったのか、司法修習生時代の話から始まりました。そして、すべての子どもに質の高い幼児教育を保証する法律とうたいながら、他事考慮という朝鮮総連の影響や拉致問題をいいがかりにして、法規や規則で朝鮮学校への援助を停止（不指定処分）した裁量権の濫用の不法性と、人権に反することが訴えられました。そして、「広範な人々のネットワークを作っていけば、必ず潮目が変わる！」と…。

その後、寒風吹きすさぶ中、下関駅前街頭宣伝を行い、多くの人から幼保無償化の署名をしてもらいました。

（報告 運営委員 松元一也）



毎月第2水曜日 11:40 頃～12:30 頃に山口県庁前で座り込み行動を行っています！
ぜひご参加ください！

草の根交流切手まつり



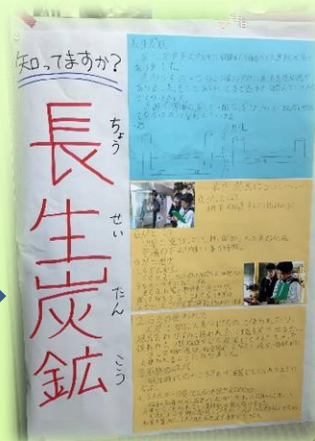
今年も 2021 年 2 月 13～14 日の日程で「草の根交流切手まつり」が開催されました。この「切手まつり」は人間いきいき研究会を中心とする実行委員会の主催で 10 年以上開催されており、使用済み切手を集めて JOCs (日本キリスト教海外医療協力会) を通じて海外医療支援に役立てることを主目的に、様々な草の根交流の活動を発表したり、情報交換したりという場となっています。

「刻む会」からもパネル展示を行いました。

BIYP 韓国青少年交流に参加している中学生が、この 1 年間で学んだことを元に、自分なりにパネルを作ってくれました！

新型コロナウイルスの影響で交流ができない状況の中で、月 1 回の web 会議などを通じてさまざまな交流の形を模索しています。

早く日韓の交流が再開されることを願っています。



第 8 回定期総会のご案内

2021 年 6 月 5 日(土) 13:00～

開催します！

※会員の皆様には、議案書を 5 月中旬にお手元にお送りします。出欠のご連絡をよろしくお願いいたします。

前号(『たより No.79』)で 6 頁「2020 年 第 25 回無窮花堂秋季追悼式(報告)」の記事に誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正を申し上げます。

誤	正
3. …(司会:原中誠志さん・事務局長)	3. …(司会:原中誠志さん・理事)
3. ④…チョン・ソクキュンさん・駐福岡大韓民国総領事館副領事	3. ④…チョン・ソクキュンさん(駐福岡大韓民国総領事館副領事)
末文:飯塚市職員 <u>の参加</u> や市長メッセージはなかった	末文:飯塚市職員 <u>数名の参加があった</u> が市長メッセージはなかった

今後の予定

- 2021 年 3 月 19 日(金) 10:00～12:30
第 12 回運営委員会及び『たより』発送作業
- 2021 年 4 月 13 日(水) 11:40～
山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会
- 2021 年 4 月 23 日(金) 10:00～12:30
第 1 回運営委員会
- 2021 年 5 月 12 日(水) 11:40～
山口朝鮮初中級学校補助金カットに対する抗議座り込み行動及び座談会
- 2021 年 5 月 18 日(火) 10:00～12:30
第 2 回運営委員会
- 2021 年 5 月 29 日(土) 14:00～16:00
真相究明ネットワーク全国集会(web)
- 2021 年 6 月 5 日(土) 13:00～
第 8 回定期総会

振替用紙を同封しています。
今年度の会費納入及び、カンパをお願いします！

※納入情報は封筒の宛名下に記載していますのでご確認ください。
その他、振込用紙を同封しています。

事務局より 会員動静 (2021 年 2 月 18 日現在)
正会員 128 名 (当年度総会比+2 名)
賛助会員 274 名 (当年度総会比±3 名)
寄付者 103 名 (当年度総会比-2 名)
計 505 名 (当年度総会比+3 名)
会員・寄付者募集中！知人・友人にぜひ一歩お願いします！